

視聴覚教育

N 85

発行日 55.9.1

発行

岡崎市AVL

編集

広報委員会

幻記今心講演演六に

鈴木健二アナウンサー

●美川中研究九発表会近づく●

「豊かな経験を通して情報処理能力の育成を目指す」放送学習を生かす指導Ⅱ」を研究テーマに、実践研究を進めてきた美川中学校は、9月24日(水)に研究発表を行う。昨年の中間発表後、さらに深く、着実に研究を進め、成果が大いに期待できる。

九〇〇〇 九五〇 ・公開授業 全教科

一〇〇五 一〇五五 ・特設授業、おどりの地球」を利用した

学習、各学年ニクラスずつ

一一二〇 一二三〇 ・全体発表と質疑応答

助言者 名大教授 高彦康雄先生

一三三〇 一四五〇 ・分科会(社会、理科、英語、保健、

PTA)

岡崎市自作TP作品 募集

- 応募作品 未発表の創作のもの。1人1点
ただし、TP枚数は制限なし
 - 提出先 岡崎市視聴覚ライブラリー
 - 提出期限 昭和55年9月30日(火)
 - 表彰 入選若干名、選外者にも参加賞
- ※ 入選作品は県自作OHP作品募集に再応募

8ミリのサークル 9月の活動

とき・9月13日(土) 6時~
ところ・写真の店 あさひ
なかみ・8ミリの編集と鑑賞



五二〇〇一六四〇 記念講演 NHKアナウンサー鈴木健二氏
六四〇〇一七〇〇 権威講演 市教委

記念講演には、親しみやすいアナウンスでファンが多いNHKアナウンサー鈴木健二氏が登場する。演題は、「暮つちの中にあるもの」であるが、ユニークな人柄から、どのような話の展開になるか、大変たのしみである。直持、お話を聞く機会は、二度とないと思われるので、ぜひ、このチャンスを生かしてほしい。

この研究会の成果が、全市に反映され、岡崎の視聴覚教育の進展に大いに生かされるよう、多数参加していただきたい。

盛況をみせた夏多々大入講習会

十六日映写技術者養成講習会には140名、VTR講習会には60名、校内放送講習会には18名、生徒、教師等74名、アナライザー活用実践校視察は23名と多数の参加者があり、なごやかな中にも真剣なる受講風景が見られた。

VTR講習会に参加して

禁中 市川敏彦

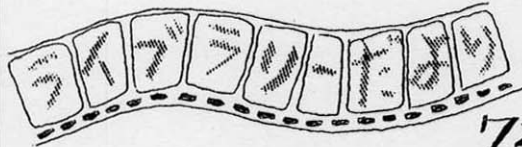


私は、A班でビデオの流し撮りを研修した。はじめに機器の説明をしていたとき、その後「室内ゲーム」の制作にかかった。

まず、スタッフを決め、コンテブくりに入った。このコンテブくり次第で、作品が良くも悪くもなるので真剣であった。全員が初心者であったので、いろいろな意見が出て大変熱が入った。

さて本番、途中で失敗すれば、流し撮りであるから、すべてがダメ。緊張しながらもカメラの前には笑顔で立ち、やっとの思いで作品を完成した。その作品を見るのは、大変なのしかった。

VTRは、教科だけでなく、部活動にも役立てることができ、今後ぜひ利用していきたい。



AV情報

8ミリフィルムの

シングルとスーパー

リール巻きになってるので撮影中に巻きもどしができ、重ね写しが可能、フィルムが薄く安価、家庭用に適す。フジフィルム

8の字巻きになっており、撮影中に巻きもどしができない。フィルムが厚く、やや高価、色が美しい。ユダックとサクラフィルム

※ 撮影機は異なるが、映写機は両方使える

72インチのテレビ拡大投影機を購入

1カラービデオプロジェクター

このほど、カラービデオプロジェクターを購入した。この機器はテレビやビデオからの画像も72インチの大形スクリーンに映し出すもので、迫力ある画面が得られる。

多くの方が遠い距離から見ることができ、研究発表会や、学年集会などに最適である。今後大いに活用したい。ただし、大型機器であるため、借りる場合は小型トラックを用意していただきたい。